

第8回肩関節機能研究会のお知らせ

日 時：2013年11月9日（土）午後3時

場 所：千代田ファーストビル西館

参加費：5,000円

テーマ：「肩甲骨機能と腱板機能、そして肩疾患へ」

参加人数制限：100名まで

「肩甲骨機能と腱板機能」、両者の関係をわかっているようでうまく説明できません。筒井廣明先生と山口光國先生たちは、この問題について **scapula Y** という言葉で表現されました。しかし、まだ概念的であり臨床レベルで使えるまでに至ったとは言えないでしょう。**Electromagnetic device**、**MRI** 等を用いた三次元動作解析のデータをまとめた **Ludewig PM** (2009) や **McClure P** (2012) の肩関節疾患の肩甲骨運動に関する総説を読んでも、まだわからないのだとの感を深くするのみです。われわれがこれまで用いた方法論に問題があるか、または肩甲骨機能と腱板機能の絶妙な関係に気付かずアプローチしていたのか。いずれにせよ、両者の関係を真に把握できず肩疾患を診察、治療しても、疾患の本質はみえず最適な治療を提供するにも限界があります。肩のわからないこと、例えば、内旋制限のメカニズム、前挙より外転しづらい理由、無症候性腱板断裂の症候性に变化する因子、動かない肩甲骨の問題と動きすぎる肩甲骨の問題等たくさんあるでしょう。そろそろ「肩甲骨機能と腱板機能」の事実を明らかにする必要があります。かつてながら講演者には下記の先生方を選ばせていただきました。今回、少しでも真実に迫ることができれば幸いです。

なお、申し込みは浜田純一郎 [email address](mailto:i-hamada@koriyama-h-coop.or.jp) までお願いいたします。

2013年6月30日

桑野協立病院 整形外科

浜田純一郎

i-hamada@koriyama-h-coop.or.jp

タイムテーブル (演題名と講演者)

15:00 開催挨拶 浜田純一郎

講演 司会：浜田純一郎

15:05～16:00 「肩甲骨周囲筋と腱板筋群の解剖」
二村昭元先生 (東京医科歯科大学大学院 臨床解剖学分野)

16:00～16:30 「肩甲骨機能と評価法」
藤井康成先生 (鹿屋体育大学)

16:40～17:10 「腱板機能と評価法」
村木孝行先生 (東北大学リハビリテーション部)

17:20～17:50 「肩関節疾患から肩甲骨・腱板機能に迫る」
浜田純一郎 (桑野協立病院)

17:50～18:20 「肩甲骨機能と腱板機能」
山口光國先生 (セラ・ラボ)

18:30～19:30 総合討論 司会：菅谷啓之, 山口光國